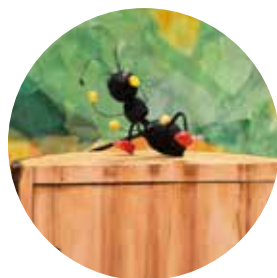


ひとりぼっちのとき
 どうしたらいい？
 さびしい気分るとき
 どうしたらいい？



森の中のいろんなともだち

上演のご案内

構成人数：3名
 上演時間：65分（休憩なし）

準備時間：3時間
 片付け時間：1時間30分

小学校作品一覧はこちら



劇団うりんこは1973年、プロ劇団として創立。うりんことは「イノシシの子ども」のこと。猪のように子どもたちのところへ真っ直ぐ走りたいという願いを込めて付けられました。以来、愛知、岐阜、三重の学校を中心に巡回公演を続け、今では活動は全国、海外に及びます。1986年には「うりんこ劇場」をオープン。子どもたちが自らの力で自らの未来を創っていく「糧」になるような演劇を創りたいと活動を続けています。



〒465-0018 名古屋市名東区八前一丁目112番地
TEL.052-772-1882
 FAX.052-771-7868 www.urinko.jp info@urinko.jp

劇団 うりんこ



大人気の絵本
 「おれたち、ともだち！」シリーズが
 お芝居になりました！

©Nana Furiya



ともだちや あいっもともだち



原作○内田麟太郎 絵○降矢なな 脚本・演出○佃 典彦
 『ともだちや』『あいつもともだち』『ともだちごっこ』（偕成社）より

美術○青木拓也／照明○四方あさお／衣裳○木場絵理香／音楽○内田アダチ／音響○椎名KANS／振付○下出祐子
 デザイン○伊藤祐基／写真○清水ジロー

ともだちや あいつもともだち

ええ～、
ともだちやで～す。
さびしいひとは
いませんかあ～

本気で遊べる 誰かはどこに…?

「本当の友だち」ってどんなものでしょう？
何でも「いいよ」って言ってくれる子が「本当の友だち」とは限りません。
「本当の友だち」と遊ぶ時は、スマートフォンやゲームで遊ぶ時とは違って、
きっと自分の思い通りにならない事が多いでしょう。
でも、話したいことや行きたい場所、好きな食べ物もバラバラで、
時にはケンカをしたり、とことん言いたい事を言い合っても、
「本当の友だち」だったら一緒に居られるのかもしれない。

このお芝居を観てくれた子どもたちが、お互いの考え方や感じ方の
違いを認め合える「本当の友だち」と本気で遊んでくれたらとても嬉しいです。
そして友だちと一緒に嬉しい事を分かち合い、つらい事、
悲しい事も乗り越えていって欲しいと心から願っています。

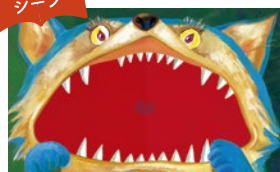
劇団うりんこ

おはなし

「ともだちや」というお店を始めたキツネ。
1時間100円で友だちになってあげようというのだ。そんな時、「トランプの相手をしろ」と、声をかけてきたのはオオカミ。トランプで遊んだ後にキツネがお代を請求すると、オオカミは目をとがらせ怒った…。「それがほんとうのともだちか。」

1

えほんの
シーン



「おだいだって!」とたんに
オオカミは めを とがらせました。
「お、おまえは、ともだちから かねをとるのか。それが ほんとうの ともだちか!」
オオカミは、きばを かちかち ならしました。

2

テンは、笛がとっても上手な女の子。
キツネに、「明日一日、オオカミと会わずに過ごせる?」と聞く。キツネは、オオカミとの約束を破ってテンと遊ぶ。でもキツネの頭の中は、オオカミのことでいっぱい…。
何よっ!今日は私だけの友だちになるって言ったじゃない!



えほんの
シーン

「きまり。あしたから
みっかかん、キツネくんは
あたしだけの ともだち!」



ヒッ…
へびさんは苦手
なんだよなあ～。

(わたくしはあくしゅしたくても
できませんしね… だって
わたくしは へびですもん)
へびは すこし すねた
めでみんなを みていました。



3

お芝居になるのはこの3冊!



「おれたち、ともだち!」シリーズ既12巻。
その中から『ともだちや』『あいつもともだち』『ともだちごっこ』(内田麟太郎・作 降矢なな・絵 偕成社刊)の3作をセレクト。